

会社名

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

大雪被害報告

2月14日から15日にかけての大雪は、報道にあったように、当地では観測史上初の記録的な降雪でした。

平成26年

仁叟寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受
 1/4～1/7 年始挨拶
 1/10 年賀寺例
 2/3 大節分会
 2/15 釈尊涅槃会
 3/9 大般若会大施食会法要
 3月中旬 筆供養法要
 3/18～3/24 春季彼岸会
 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
 6/19 檀信徒研修大会及梅花
 県大会及二祖国師予修法要
 7/13～7/16 新暦盂蘭盆会
 京浜地区檀信徒棚経
 7/30～7/31
 第33回子供禪の集い
 8/10 中元寺例
 8/13～8/16 盂蘭盆会
 9/20～9/26 秋季彼岸会
 9/29 特派布教師巡回
 10/18 檀信徒研修参拜旅行
 12/8 釈尊成道会
 12/10 歳暮寺例
 12/31 除夜会

- ※毎週土・日曜日 書道教室
 ※毎週水曜日 定例坐禅会
 ※隔週水曜日
 梅花講・琴教室・華道教室

当寺でも積雪は80センチ以上を記録し、大きな被害をもたらしました。

仁叟寺では、地元の方々と共に力を合わせ、除雪作業を行い、15日には、本堂・檀信徒会館「欣光閣」・駐車場の歩く道は確保。16日夕方には、車で移動出来るほどになりましたが、その週の法事は全て延期となりました。

また、本堂及び欣光閣、鐘楼堂、山門の屋根瓦の崩壊等ほか、諸堂宇の雨樋や屋根も被害を受けました。

除雪作業にあたり、多胡石材産業様、石匠多比良様には大変お世話になり、御礼申し上げます。

除雪作業がひと段落いたしましたら、墓地の状況を墓参を兼ね、見られる方が多くおられました。竹や大樹が雪の重みで墓所に倒れていた箇所もありましたが、除雪作業と併せ撤去。また各家の墓所までの道の除雪を当寺で行いました。

また、群馬県指定天然記念物「カヤの木」、高崎市指定天然記念物「モクの木」、高崎市指定保存樹「五輪櫻」ほか被害が発生し、樹医に診断していただきました。五輪櫻は、折れた幹や枝が痛々しかったものの、今年も春には綺麗な花を咲かせ、花見客を迎えました。カヤの木は、群馬県緑化推進委員会の協力もあり、雪害で枝が折れた箇所の養生を丁寧に施すことが出来ました。

仁叟寺では、被災後直ちに、復旧工事を業者に依頼。しかしながら、屋根瓦や足場組には今回の雪害で何処も先行きの見通しがつかない状態。本堂及び欣光閣の屋根復旧工事も7月現在で完了しておりません。遅くとも年内には完全に復旧出来るよう、作業を進めております。併せて、復旧金に関しては、保険や宗門や関係機関と折衝を続けております。

以上、当寺の大雪被害の報告を簡単に申し上げます。此度の大雪で被災しました方々のお見舞いを申し上げます。合掌。



↑大雪の境内



↑五輪櫻

高崎市里山元気再生事業報告

～植樹作業～

紅葉の名所夢見て

高崎仁叟寺モミジ100本植える

秋を思い描き、高崎市吉井町の仁叟寺（渡辺啓司住職）は、敷地内にモミジの苗木100本を植えた。檀家役員や地元区長ら35人が、紅葉の名所となる日を夢見て汗を流した。同寺では昨年9月から、市の森林整備計画「里山元気再生事業」の一環で、約2300平方メートルの竹林を伐採。地域住民に喜んでもらえる跡地活用を考え、モミジを植えることを決めた。今後シダレザクラも20本ほど植える予定だ。渡辺住職は「この辺りは、桜はきれいなので、秋にも楽しみができるといいと思った。丁寧に手入れしたい」と話していた。

（平成26年4月2日付『上毛新聞 地域面』より）



↑ 植樹作業風景



↑ 多数の方々にご協力賜りました ↑

沢昇さんを中心に地元の方々と共に伐採。また、寺役員及び地元13区の関口区長はじめ地域の方々とおてんまを賜りました。竹林伐採後の跡地には、本年3月26日に紅葉と桜を植樹。その植樹作業の様子が、上毛新聞記事に掲載されました。紅葉の名所として、お寺に参られた方が、ほっとするやすらぎの空間を、多くの皆様方と力を合わせ創造出来れば幸いです。

↑ 上毛新聞記事

既に当寺報でも紹介させていただいた通り、昨秋より仁叟寺にて進めております竹林の整備。高崎市の里山元気再生事業の計画のもと、従来の里山に戻すために、竹3,000～4,000本を矢嶋巖さん、小

秋の研修旅行参加者募集中～山梨県古刹巡り～

今年で第10回目となります恒例の仁叟寺参拝研修旅行。本年は、山梨県古刹寺院を中心に廻る旅程を企画いたしました。日程は10月18日土曜日です。

臨済宗妙心寺派・恵林寺様は、武田信玄で有名な武田家の菩提寺。武田信玄公の墓所のほか江戸期の老中である柳澤吉保公の墓所もあります。庭園は国指定名勝でもあります。「心頭滅却すれば、火も自ずから涼し」の言葉で有名な高僧・快川紹喜禅師もこの住職を勤めておりました。また、長野県善光寺様と同様に戒壇巡りの出来ます甲斐善



↑ 恵林寺回廊からの紅葉

井上正俊氏 総代長退任挨拶



この度、総代長を退任することになりました。長い間お世話になりました。馬齢を重ね八十有余歳、寺・檀家様には御指導御鞭撻をいただき感謝申し上げます。ご期待に応えられず老害の自覚もなしに厚かましく任にあったことを恥じております。

常日頃、住職様が叡智に富み実践力と指導性に富んだ総代をと望んでおり、私はその上に地域の信頼をと考えておりました。そんな事から、六年間の総代長を務め上げた今が絶好の機会と考え、退任を御了承いただきました。有難うございました。

当山は近年、住職様はじめ関係者の精進により隆興の一途を歩んでおります。これらは檀信徒各位のご協力の証でもあります。これからも、仁叟寺の名に相応しい安らぎのある菩提寺を中心に、一層の繁栄を祈念いたします。

お世話になりました。ありがとうございました。合掌。



新井徳衛氏 新総代長就任挨拶



この度、長年に亘り菩提寺様の護持隆盛の為にご尽力されました井上正俊総代長様の後任として、総代長のお役をお受けする事となりました。

農業一筋に今日まで歩んできた私にとって、その責任の重さを感じております。しかしながら、この事は、佛縁のいたす処と考え、格式ある菩提寺仁叟寺の法燈の護持発展と檀信徒皆様方の為に、一生懸命精進いたす

所存でありますので、何卒宜しくご指導ご鞭撻賜りますよう、お願い申し上げます。合掌。



仁叟寺総代人一同

| | | |
|------|------|------|
| 新井徳衛 | 矢島正義 | 篠崎和男 |
| 森 久 | 堀越兼一 | 神保堯男 |
| 橋爪 勝 | 酒井範明 | 神保武長 |

テレビ朝日系ドラマ「土曜ワイド劇場」放映



↑ドラマ撮影風景（平成25年3月）

去る5月31日土曜日の夜9時より、テレビ朝日系2時間スペシャルドラマ「土曜ワイド劇場 司法教官・穂高美子」が、仁叟寺が舞台となり放映されました。撮影は昨年3月に群馬県内で行われ、当寺は境内での撮影をはじめ葬儀等の場面として登場。また、住職及び副住職も、葬儀のシーンで協力いたしました。

地元高崎市が力を入れております、映画やドラマ等の撮影地として仁叟寺も賛助いたしました。最近は、都内からも近いこともあり、多くの映画やテレビドラマ等の撮影地に群馬県が選ばれております。

今回の撮影では、主演の水野真紀さんのほか河相我聞さん、雛形あき子さん、三倉茉奈さんといった俳優陣をはじめエキストラ約100名以上がバス2台にて来寺。撮影も早朝より日没まで行われました。

全日本仏教会広報誌『全仏』に掲載されました



全日本仏教会の広報誌『全仏』が、今年7月号をもって通算600号の記念特別号となりました。そこで、仁叟寺での防災備災についての取り組みについて、紙面で是非紹介したいとのことで、全日本仏教会広報部長はじめ担当者が取材に訪れました。この広報誌は約七万部作成され、日本国内の寺院関係に配布されます。

↑通算600号記念号の特集記事は「寺院防災」

地域防災について、また高崎市指定避難所として仁叟寺の活動が記載されております。

群馬県曹洞宗青年会主催 インド研修旅行報告

2月25日～3月6日に掛けて、インド七大仏教聖地を巡礼して参りました。副住職が副会長を務めます群馬県曹洞宗青年会の有志15名と共に、数年前より企画された今回の研修旅行を圓成させていただきました。

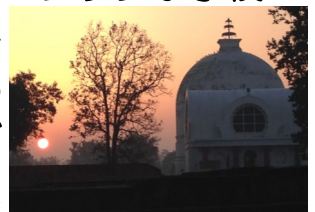
聖地巡礼だけでなく、8年前に当会で建立しました「ゴータマブッダ小学校」の二階部分増築記念式典にもゲストとして参列。インドクシナガラ郊外にある当学校が、地域の方々の教育の拠点として機能していることにも感動を覚えました。

充実した旅程となっており、またインドビハール州ではストライキ等にも巻き込まれ、宿には夜半到着、出発は早朝とハードではありました。しかしながら、非常に良い意味で印象に残る研修が行えたと思っております。お釈迦様の足跡を辿り、聖地で会員と共にご回向が修行出来ました尊縁に只管感謝あるのみです。



↑ゴータマブッダ小学校

での式典
朝焼けの
クシナガラ
涅槃堂



除夜会・大節分会・大般若会法要、盛会裡に圓成



→ライトアップされた十三重石宝塔（除夜会）



↑上毛新聞記事 2/4付地域面（大節分会）

今年も恒例の除夜会が大晦日から元旦に掛けて、2月3日には大節分会が、3月第二日曜日になります9日には、大般若会大施食会法要が修行されました。いずれも天候に恵まれ、多くの方々の参詣を頂戴いたしました。

各行事共に、恒例の地域に根差した伝統行事でございます。寺総代人さん、役員さんはじめ多くの関係各位のご協力のもと、本年も勤めることが出来ました。有難うございました。

また、大般若会大施食会では、法要に先立ちまして、大本山總持寺副監院・福井県龍泉寺ご住職の山口正章老師にご法話をいただきました。本年は、大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師様の650回大遠忌の予修に当たります。山口老師には、その峨山禪師についてのお話をスクリーンなどを使い、分かりやすく丁寧にしていただきました。

峨山禪師予修法要は、去る6月19日に、曹洞宗群馬県宗務所及び曹洞宗群馬県護持会主催により、群馬県単位で修行されました。また9月29日には、仁叟寺が会場となり、特派布教師巡回がなされ、その際に当14教区単位で予修法要を勤める予定であります。多くの檀信徒の皆様方の奮ってのご参加をお願い申し上げます。



→法話をされる大本山總持寺副監院・山口正章老師
（大般若・大施食会）
多くの檀家の皆様のご参加を頂きました



自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～

副住職の大本山總持寺修行時代の同安居（同窓）の長嶋師が副住職を務めます岩手県山田町・海蔵寺様。津波で墓地以外の堂宇全て流され、多くの方々が犠牲になりました。本年6月3日、3年掛けて支援の志を募り、副住職が役員を勤めております同安居会即眞会にて、慰霊法要を海蔵寺様仮本堂で勤め、義捐金をお渡しいたしました。長嶋師の地域と向き合った復興への思いを聞かせていただき、同安居と共に供養法要を勤めました。

→本堂があった場所にて話を伺う



(順不同、敬称略)

| No. | 地区 | 氏名 | 寄付品物 |
|-----|-----|------------|------------------|
| 1 | 高崎 | 齊藤 利男 | 麻鳥足縫九条袈裟 |
| 2 | 神保 | 柿田 和良 | サツキ・ドウダンツツジ五十株 |
| 3 | 吉井 | 木村 修三 | LED街路灯一基 |
| 4 | 高崎 | 小林 宏 | 砂張印金一對 |
| 5 | 千葉 | 川上 京子 | 本堂障子戸八張 |
| 6 | 吉井 | 川上 哲 | 本楠尺五寸木魚 |
| 7 | 吉井 | 宮川 敏雄 | 白彼岸花球根百球 |
| 8 | 神保 | 小沢 昇 | 櫨製花臺 |
| 9 | 矢田 | 小林 正人 | 朱塗大見臺 |
| 10 | 南陽台 | 井上 袈裟男 | 水桶五個 |
| 11 | 東京 | 落合 照一 | 黒塗燭臺一對 |
| 12 | 多比良 | 篠崎 正道 | 水桶五個 |
| 13 | 本庄 | 田村 貴美 | 玄関紫幕、文殊堂紅白幕 |
| 14 | 高 | 落合 裕明 | 受付用文机 |
| 15 | 高 | 金井 文明 | 栓角香爐 |
| 16 | 南陽台 | 関 運平 | 朱塗曲枱 |
| 17 | 藤岡 | 齋藤桐材店 | 桐製長押 |
| 18 | 新潟 | 進展工業 株式会社 | 避難用携帯トイレ一式十基 |
| 19 | 高崎 | 株式会社 伊藤園 | 災害時対策用自動販売機、御茶沢山 |
| 20 | 東京 | 株式会社 第一テクノ | 避難所用自家発電機及び工事一式 |
| 21 | 多胡 | 井上 澄子 | 竹林七百平米 |
| 22 | | 新盆檀家一同 | 本堂廊下畳新設、欣光閣絨毯張替 |

御寄進、どうもありがとうございました

合掌

行雲流水 (編集後記)

編集人 副住職 渡辺龍道

平成14年新年号から続けて発行させていただいております仁叟寺報『山雲水月』。今号で40号となりました。しかしながら、今冬の大雪の影響もあり、今年の春号はお休みさせていただきます。

今号では、今なお爪痕の残る、その雪害についてのご報告等させていただきました。その大雪の際に、いち早くお見舞いの言葉をか

けていただいた方は、福島県の方でした。被災地支援等でご縁を結ばせていただきましたが、先方の状況を鑑みますとなかなか出来ることではないと思っております。

「絆」を大切に、更に精進させていただこうと思っております。合掌。(龍)

